



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 久米 俊樹 (TEL) 0798-56-5010  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	47,262	1.7	792	△43.4	1,450	△6.1	512	△41.3
2022年3月期第1四半期	46,487	3.8	1,400	5.9	1,544	1.6	873	47.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,033百万円(80.8%) 2022年3月期第1四半期 1,125百万円(2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.78	—
2022年3月期第1四半期	13.28	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	215,735	94,005	42.9
2022年3月期	221,206	94,261	41.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 92,652百万円 2022年3月期 92,465百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.00	—	23.00	42.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	3.8	9,000	△14.9	9,200	△22.2	6,000	△13.1	91.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	70,000,000株	2022年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,166,473株	2022年3月期	4,166,255株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	65,833,624株	2022年3月期1Q	65,744,235株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の防疫と経済活動の両立が進む一方、依然として感染症収束の見通しは立たず、急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画[SG-Vision2030]のPhase 1に当たる、中期経営計画[SG-2023]の活動2年目を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は71,133百万円(前年同期比22.6%増)、売上高は47,262百万円(同1.7%増)となりました。なお、当第1四半期末の受注残高は236,904百万円(同36.4%増)であります。

損益面は、鋼材価格の上昇等に伴い、営業利益は792百万円(同43.4%減)、経常利益は1,450百万円(同6.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は512百万円(同41.3%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (特装車)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに減少いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は30,083百万円(前年同期比4.0%減)、売上高は20,976百万円(同9.1%減)となり、営業利益は549百万円(同68.8%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は91,982百万円(同33.8%増)であります。

#### (パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は9,966百万円(前年同期比3.1%増)、売上高は8,577百万円(同1.3%減)となり、営業利益は321百万円(同58.9%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は44,737百万円(同2.7%増)であります。

#### (産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、真空製品の受注及び売上が増加した結果、分野全体でも受注、売上ともに増加いたしました。

また、環境関連事業も、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は16,514百万円(前年同期比152.1%増)、売上高は6,066百万円(同25.2%増)となり、営業利益は511百万円(前年同期は4百万円の利益)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は38,503百万円(前年同期比112.9%増)であります。

#### (流体)

前期に実施したM&A効果などにより受注及び売上が増加した結果、当セグメントの受注高は5,788百万円(前年同期比25.5%増)、売上高は3,696百万円(同51.7%増)となり、営業損益は61百万円の損失(前年同期は259百万円の損失)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は8,388百万円(前年同期比40.6%増)であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに増加いたしました。

また、民需関連も、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は4,450百万円(前年同期比37.6%増)、売上高は5,423百万円(同33.0%増)となり、営業利益は162百万円(前年同期は348百万円の損失)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は41,164百万円(前年同期比51.5%増)であります。

(その他)

建設事業において、受注は増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は4,330百万円(前年同期比64.4%増)、売上高は2,521百万円(同24.9%減)となり、営業利益は77百万円(同46.6%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は12,128百万円(同19.2%増)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、棚卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて5,471百万円減少し215,735百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて5,216百万円減少し121,729百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べて255百万円減少し94,005百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.8%から42.9%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,600	18,912
受取手形、売掛金及び契約資産	62,114	54,914
電子記録債権	8,831	13,269
商品及び製品	4,067	4,475
仕掛品	21,619	23,442
原材料及び貯蔵品	21,238	22,760
その他	4,266	5,946
貸倒引当金	△121	△142
流動資産合計	148,615	143,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,185	18,991
その他（純額）	23,244	23,427
有形固定資産合計	42,430	42,418
無形固定資産		
	2,876	2,799
投資その他の資産		
その他	27,310	26,961
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	27,284	26,935
固定資産合計	72,590	72,154
資産合計	221,206	215,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,898	24,492
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	2,891	2,855
1年内返済予定の長期借入金	2,443	2,453
未払法人税等	2,527	473
工事損失引当金	3,194	3,106
その他	28,147	27,790
流動負債合計	65,903	61,972
固定負債		
社債	1,600	1,400
長期借入金	44,519	43,640
退職給付に係る負債	12,962	12,805
その他	1,959	1,910
固定負債合計	61,041	59,757
負債合計	126,945	121,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,657
利益剰余金	65,852	64,850
自己株式	△5,954	△5,954
株主資本合計	91,617	90,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	1,006
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	821	1,623
退職給付に係る調整累計額	△694	△137
その他の包括利益累計額合計	847	2,116
非支配株主持分	1,795	1,353
純資産合計	94,261	94,005
負債純資産合計	221,206	215,735

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	46,487	47,262
売上原価	39,554	40,318
売上総利益	6,932	6,944
販売費及び一般管理費	5,532	6,151
営業利益	1,400	792
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	102	102
持分法による投資利益	4	—
為替差益	48	690
その他	52	48
営業外収益合計	221	857
営業外費用		
支払利息	47	56
持分法による投資損失	—	84
休止固定資産費用	8	11
借入手数料	4	3
債権流動化費用	2	7
その他	14	35
営業外費用合計	77	199
経常利益	1,544	1,450
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産処分損	103	9
特別損失合計	103	9
税金等調整前四半期純利益	1,441	1,472
法人税、住民税及び事業税	329	353
法人税等調整額	187	438
法人税等合計	516	792
四半期純利益	924	680
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	873	512



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	924	680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△90
為替換算調整勘定	105	726
退職給付に係る調整額	36	557
持分法適用会社に対する持分相当額	107	159
その他の包括利益合計	200	1,353
四半期包括利益	1,125	2,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,046	1,781
非支配株主に係る四半期包括利益	78	252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	22,244	8,209	2,210	2,039	2,052	36,756	3,355	40,112	—	40,112
アジア	202	480	1,972	207	—	2,862	—	2,862	—	2,862
北米	2	—	304	177	1,931	2,415	—	2,415	—	2,415
その他	629	—	359	12	94	1,095	—	1,095	—	1,095
顧客との契約 から生じる収益	23,079	8,690	4,846	2,436	4,078	43,131	3,355	46,487	—	46,487
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	23,079	8,690	4,846	2,436	4,078	43,131	3,355	46,487	—	46,487
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	5	0	2	—	17	410	427	△427	—
計	23,088	8,695	4,847	2,438	4,078	43,148	3,766	46,914	△427	46,487
セグメント利益 又は損失(△)	1,764	783	4	△259	△348	1,944	145	2,089	△689	1,400

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△689百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△709百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	19,636	8,063	2,356	2,562	3,225	35,844	2,521	38,365	—	38,365
アジア	468	514	2,084	831	—	3,898	—	3,898	—	3,898
北米	—	—	470	162	1,941	2,574	—	2,574	—	2,574
その他	872	—	1,155	140	255	2,423	—	2,423	—	2,423
顧客との契約 から生じる収益	20,976	8,577	6,066	3,696	5,423	44,741	2,521	47,262	—	47,262
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	20,976	8,577	6,066	3,696	5,423	44,741	2,521	47,262	—	47,262
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	2	0	1	—	11	433	444	△444	—
計	20,983	8,580	6,066	3,698	5,423	44,752	2,954	47,707	△444	47,262
セグメント利益 又は損失(△)	549	321	511	△61	162	1,484	77	1,561	△768	792

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△768百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△782百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント変更)

経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、当第1四半期連結会計期間より、事業部を軸としたセグメント区分に変更しております。これに伴い、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載し、従来の「特装車」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「航空機」の4区分から「特装車」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「流体」「航空機」の5区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。